

**ADDRESS BY THE HON'BLE PRESIDENT OF
INDIA
SHRI RAM NATH KOVIND
COMMEMORATION OF THE GOLDEN JUBILEE
OF THE
VISHWA SHANTI STUPA**

Rajgir, October 25, 2019

**インド国大統領
スリ・ラーム・ナート・コビンド閣下のスピーチ**

**ヴィシュワ・シャンティー・ストウパ（世界平和舎利塔）
50周年記念式典
ラージギールにて、2019年10月25日**

南無妙法蓮華經

この古代仏教聖地で造られたヴィシュワ・シャンティ・ストゥパの聖なる50周年記念式典に当たり、私が皆さんと一緒に参加できたことはとても嬉しく存じます。この式典に関してはビハール州政府、ラージギール・仏陀・ヴィハール・ソサエティ、日本山妙法寺の信者の皆さん、そして藤井グル・ジの弟子全員にお喜びを申し上げます。アジア・ヨーロッパ、アメリカの各地、特に日本からの参加者に対して、この聖なところまで式典のお祝いのため長い旅をしていらっしやったこと、特別に感謝を申し上げます。皆さんは世界平和の親善大使です。

仏様が七年も法華經をご説教なされたそうで、その靈鷲山の山頂に向かってラトナギリ丘にこのように立っていることは、私に取って幸運であると存じております。この平和塔での年間式典で、ビハール州・州知事として2015年そして2016年にも参加できたことは光栄に思っております。当時、ラージギール・仏陀・ヴィハール・ソサエティのチーフ・パトロンでもありました。2018年には「ダルマ・ダツマに関する国際会議」の開会式のためにこのラージギール市にきております。仏様の大事な住居地ラージギールにくることは私にとって特別な喜びでいっぱいになります。

我々は社会を変えた聖なる革命の聖地で集まっております。ブッダガヤ、ラージギール、パトリプトラそしてナランダは数世紀も前におきて世界中に広がったこのような改革のうまれたところであります。ここからそう遠くないところブッダガヤで仏様が木の下で悟りを開きました。この地域ではジェーナ教とヒンドゥー教が根付き、それは古代からのインドでの素晴らしい多様性の活気を表しています。

そういう意味でも、「ヴィシュワ・シャンティ・ストゥパ」は統一、平和そして非暴力の象徴であります。ここからメッセージは文化、宗教、そして地理を越えた全世界への響きがありま

す。これは平和が好きインドと日本の民衆主義 2 カ国の間での
変わることの無いパートナーシップそして幅広い協力として反
映しています。この式典は京都・カーシ（京都・バラナシ）と
いった精神の元で日本とインドの 2 カ国の相互エンゲージメン
トが相対的な増加を示している時期に行われています。

ご来場の皆様、

私の大先輩、元大統領 故 S.ラダクリシュナン博士が 1965 年
にこのストウパの礎石を据えたものです。そして、私のもう一
人の前任者、故 V.V. ギリ氏により 1969 年のガンジー 100
周年のとき、ストウパのオープニングが行われました。皆さん
もご存知の通り、マハトマ・ガンジーが大同情する仏陀のユニ
バーサル愛そして同情の観念に従い、行動をしました。仏陀の
教えはガンジーの気質に反映されています。ヴィシュワ・シャ
ンティー・ストウパの 50 周年のお祝いのために、ガンジーの
150 周年の同 10 月にここで我々が集まったことは嬉しく存
じます。ですから、今日、ストウパの 50 周年のお祝いに当た
り現代世界のもっとも大きな伝道師に対して敬意を払っている
ことになります。

藤井グル・ジーが世界中にシャンティー・ストウパを建設する
アイデアをスタートしたことは一般的にも知られています。こ
の印象深いストウパは基本的には藤井グル・ジーのたゆまない
努力そしてよく知られているマハラティー・ウペンドラ仏教建
築家のきめ細かい努力による結果であると存じます。藤井グ
ル・ジーはガンジーにお会い、そしてワルダ・アシュラムにも
泊まりました。ガンジーとグル・ジーは非暴力と平和といった
一つの共通の目標をもった偉大な聖人でした。ガンジーは何妙
法蓮華経というマントラを覚え、毎日のお祈りをこのマントラ
の唱えでスタートしていたほど日蓮仏教の影響を受けていまし
た。私は日本へ行って帰ってきたばかりで、私の日本への訪問

中に藤井グル・ジーの信者にもお会い、世界の平和と調和のため祝福も頂戴しました。

私は約45年前に藤井グル・ジーにお目にかかる機会がありました。今でも覚えています、恐らく**1974**のことだと思いますが、故ムラーラジー・デサイ（元首相）のニューデリーの家に信者と一緒にマントラを唱え、ドラムを叩きながらお入り、デサイ氏は両手を合わせご挨拶して迎えました。グル・ジーは仏教の僧侶で、デサイはサナトナ・ダルマの信者でヒンドゥー教の道に従う人で、両者は世界平和といったその共通な精神的な目標で縛られていました。私は、**1977**年から**1979**年までインドの首相だったムラーラジー・デサイ氏のもとでお仕事をすることで恵まれております。

ご来場の皆様、

我々の民衆主義に対して仏教の観念そしてシンボルの影響は多大で目に見えるものであります。我々はアショカのライオン・キャピタル、つまりアジア大陸ライオンの像を国章として採択しております。ローク・サバーと言われるインド国会の下院の議長席の上に「ダツマ、つまり正義の輪を動かす」という意味を表す言葉「ダルマ・チャクラ・ブラヴァルトナエ」と刻み込まれてあります。インドの憲法の主席作成者であるビームラオ・アンベドカル博士はインドの議会民衆主義は古代仏教サンガーに対して感謝すべきことを強調しています。

仏陀のメッセージと信者が古代の時、世界のあらゆるところに広がりました。グローバル化のもっとも早い波が流れるように、この二者が働きました。仏陀の八正道は世界中の精神ランドスケープを変えただけでなく、道徳的、そして持続可能な社会的・政治的・商業的プラクティスを奨励しました。その後、仏教は他の大陸各地にも広まりました。仏教の同情、平等、緩和そして非暴力を強調することを合理的に導入する現代の人々

の心に響きます。仏陀のアピールは世界中にいる仏教の5億人ほどの信者を越えたところでも影響しています。マハトマ・ガンジーは仏教の道の本質的な精神を進め、グローバルアイコンとして大陸全体に渡る指導者と一般民に影響を及ぼしました。仏様とマハトマ・ガンジーは思想と行動と話し言葉の一致を教え、人間が持っている生まれつきのポテンシャルをみせてくれました。本人の人生そのものは他の人に対するメッセージとなりました。仏陀とマハトマ・ガンジーの永遠の教えの中で、個人、コミュニティ、国、そして世界全体が直面している基礎的な課題の解決方法を見つけることができます。

仏陀の理想をもって、もっと多くの人に連結するニーズがあります。このような仏教遺産聖地への観光業のプロモーションは人々にその魅力を味わっていただくために、特に若者に仏教精神の良さを感じてもらうために有効的な手段であります。インド中央政府観光省、そしてビハール州政府は現在、統合的な仏教聖地観光開発プロジェクトに関してインターナショナル・ファイナンス・コーポレーションと協力しています。より良いコネクティビティーそしてファシリティを提供するためのこのような努力のおかげで、観光客に対するサービスの質は継続的によくなっていきます。

仏様は「ナッティー・シャンティ・パラム・スーク」、つまり「平和より大きい至福がない」と教えています。平和というのは開発のための前提条件であります。「平和はまず自分の中、それは外での平和の前提条件である」というのは仏陀の教えの本質であります。スピリチュアルティ（霊性）、平和そして開発は互いに相互強化する要素であります。紛争、騒動そして開発途中というのは互いに喰う要素であります。今日、ここで集りの一人一人の心からの目的は貧困と紛争を減らすため平和と調和を強い道具としてプロモートするものであるべきです。

仏陀からガンジー、「ライト・オブ・アジア」が世界に対して正しい道を案内してくれました。これはきっと、引き続き、平和、調和と繁栄に満ちた我々の将来の道を開いてくれると存じております。

どうもありがとうございました。

ジャエ・ヒンド！